

議第50号 (仮称) 千年小中一貫教育校の名称について…………… 1

議第50号

(仮称) 千年小中一貫教育校の名称について

内浦小学校，内海小学校，能登原小学校，千年小学校及び常石小学校並びに内海中学校及び千年中学校を再編し，義務教育学校として設置する（仮称）千年小中一貫教育校の名称について，次の候補の中から選考する。

【名称候補及び開校準備委員会での主な意見】

名称候補	主な意見
ぬまくまうつみ 沼隈内海学園	<ul style="list-style-type: none"> 沼隈町と内海町の7つの小中学校が一つになった新しい学校であることが分かりやすい。 地域名が入り，場所が特定できる。 校名で，地域の伝統や文化をイメージできる。
しょうない 沼内学園	<ul style="list-style-type: none"> 沼隈と内海の頭文字をとり，分かりやすく，覚えやすい。 沼隈町と内海町の人々が，力を合わせて地域に貢献し，地域から愛される学校にするという決意が込められる。
ふじなみ 藤波学園	<ul style="list-style-type: none"> 沼隈町と内海町を結ぶ内海大橋のもとにある敷名※に関わり，平家物語に詠まれた歌に「千年経（へ）む 君がよわいに藤波の松の枝にも かかりぬるかな」とある。（※敷名は小字） 由緒ある藤の花のように，子どもたちが一つになって，新しい学校の歴史や文化を作りながら，素敵に成長していったほしいという願いが込められる。
せいかい 青海学園	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内の美しく穏やかな海のもとで育まれる子どもたちに，心身ともに健やかに成長していったほしいという願いが込められる。 海をイメージした名前であり，響きが良い。
くちなしのせと 瀬戸学園	<ul style="list-style-type: none"> 沼隈町と内海町の海は「口無し海」と呼ばれ，両町が一緒になってできる学校名にふさわしい。穏やかな学校のイメージにもつながる。 菅茶山（儒学者）はこの海域を訪れ，漢詩に湾の美しい風景と歴史を読み込んでいる。
そうせい 想青学園	<ul style="list-style-type: none"> 若さを青に見立て，将来に想いを馳せながら学校生活を送ってほしいという願いが込められる。 「青」から広がるイメージが，子どもたちに未来を切り拓いてほしいという願いにつながる。
ななみ 七海学園	<ul style="list-style-type: none"> 七つの学校が一つになることと，「七つの海」が「世界の大海」を表現することが関連付けられ，子どもたちの飛躍が期待できる。 一つの海を七つの視点から観察できる，多様な視点で物事を考えることのできる人に成長してほしいという願いが込められる。
にじ さいと 虹の里学園	<ul style="list-style-type: none"> 7校が一緒になることから，7色が一つになった虹をイメージした。子どもたち一人一人がいろいろな色に輝き，笑顔あふれる学校となるようにという願いが込められる。 一人一人が持っている違いや良さ，「カラフル」を大切にする教育を行っていく学校がイメージできる。

【検討の経過】

○第1回開校準備委員会（6月29日開催）

新しい学校づくりに地域の意見を反映させるため、対象学区の地域住民、児童生徒、保護者及び教職員を対象に、校名アンケートの実施を決定

○第2回開校準備委員会（7月29日開催）

- ・校名アンケート応募総数 316
- ・開校準備委員会委員の代表者（代表委員）による絞り込み協議を実施

○代表委員絞り込み協議（9月7日開催）

- ・校名に込められた想いを踏まえ、代表委員の支持の高かった15候補を選考

○第3回開校準備委員会（9月30日開催）

開校準備委員会委員による投票を実施し、得票数が多かった8候補（得票数12以上）を教育委員会会議に提案することを決定